

バックアップ・リカバリ ～研修受講前テスト～**■問題1【障害の種類と対応】**

データファイルに障害が発生した場合（メディア障害）の対処について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1つでもデータファイルが破損した場合、データベースを停止してリカバリを行う必要がある。
- オンラインREDOログ・ファイルのREDOログがあれば、最新の状態でリカバリできる。
- 障害の内容によっては、破損したデータファイルのみリカバリすればよい。
- 論理バックアップ（Data Pump Exportで作成したバックアップ）があれば、最新の状態でリカバリできる。
- 分からない

■問題2【インスタンス障害からのリカバリ】

インスタンスが異常終了した場合（インスタンス障害）の対処について、誤っているものを1つ選びなさい。

- リカバリには制御ファイルが使用される。
- 管理者がインスタンスを再起動する。
- 最新のバックアップ・ファイルをリストアする。
- リカバリにはオンラインREDOログ・ファイルが使用される。
- 分からない

■問題3【メディア障害に対する備え】

データベースを構成するファイルの障害（メディア障害）に対する備えとして、誤っているものを1つ選びなさい。

- 最新の世代だけでなく、複数世代のバックアップ・ファイルを保存しておく。
- オンラインREDOログ・ファイルのグループの数を増やす。
- 制御ファイルを多重化する。
- アーカイブREDOログ・ファイルの出力先の数を増やす。
- 分からない

■問題4【バックアップ】

データベースのバックアップについて、正しいものを1つ選びなさい。

- データベースが異常終了した状態で取得したバックアップ・ファイルも有効である。
- 一時表領域とUNDO表領域はバックアップ対象外である。
- ARCHIVELOGモードでは、データベースをオープンした状態でもバックアップできる。
- NOARCHIVELOGモードでは、前回のバックアップ以降にデータが変更されたファイルのみバックアップする。
- 分からない

■問題5【データファイルの障害とリカバリ】

障害が発生するとデータベースが停止する表領域を以下より2つ選びなさい。

- ユーザー用データを格納しているUSERS表領域
- 一時表領域
- SYSTEM表領域
- 索引データを格納しているIDX表領域
- UNDO表領域
- 分からない

■問題6【オンラインREDOログ・ファイルのリカバリ】

オンラインREDOログ・ファイルの障害対策とリカバリについて、正しいものを1つ選びなさい。

- 多重化したうちの1つが破損した場合、正常なファイルをコピーしてリカバリする。
- 多重化はSQLで行えないため、専用のツールを使用する。
- 多重化すると、一部のオンラインREDOログ・ファイルが破損してもインスタンスが停止しない。
- アーカイブREDOログ・ファイルがあればリカバリできる。
- 分からない

■問題7【制御ファイルのリカバリ】

制御ファイルの障害対策とリカバリについて、正しいものを1つ選びなさい。

- 多重化すると、一部の制御ファイルが破損してもインスタンスが停止しない。
- データベースの物理構造を変更した時にバックアップを取得することが推奨される。
- 制御ファイルが破損すると、表のデータが失われてしまう。
- 制御ファイルがすべて破損した場合はデータベースを再作成する。
- 分からない